



学校だより

令和5年 2月28日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



今できることに感謝

校長 仲川 美世子

2月は本当にあっという間に行き過ぎてしまいます。1年365日の中のたった2、3日短いだけなのですが、それだけでこんなに早く感じてしまうのはどうしてなのでしょう。時間が過ぎゆく早さの感じ方はその人が生きてきた長さに比例するという話も聞いたことがあります。自分が年を重ねてしまったからということでしょうか…

いずれにしても、今年度もあと1ヶ月を残すのみとなりました。この1年間、子どもにとってもご家庭にとっても働く職員にとっても少しでもよりよくなるようにと考えて学校経営して参ったつもりです。コロナ禍における学校現場での制限は少しずつ少しずつ緩み、宿泊行事や遠足、校外学習に出かけることもできました。かつては密を避けるために電車での移動も中止していましたが、今年度は1年生も電車利用でこどもの国遠足を実施しました。何より、日頃のご家庭でのご協力もあって、コロナやインフルエンザ等による学級閉鎖をすることなく日々が過ぎていることも、とてもありがたく思っています。誰しものがみんなのために、自分のために、すべきことを粛々と行ってきた成果だと思えます。

もちろん、まわり（他国や他都市、他校…）と比べたらもっとこんなこともあんなことも、と考えることもあります。現状、教室ではマスクを着用することは欠かせません。一斉に声を出すときには人との間隔を空けなければなりません。給食を向かい合って食べることもできません。それでも、外での活動や、人との会話がないうちの状態であればマスクを外してもよいことや向かい合っただけの教育活動、体が触れあう運動など、できるようになったことも増えました。それらは横浜市教育委員会からの指示によります。この先、感染症の位置づけなどの変更もいわれています。そうなったら今よりもさらにできることが増えていくことでしょう。「あれができない」「これができない」という考え方ではなく、「これならできる」という発想で、今後も世の中の動きや教育委員会からの指示とともに、本校の実情に合わせた教育活動を進めて参ります。

本校はなんといっても大工事の真っ最中です。「校庭が使えない」けれども「公園が使える」、普段めったに見ることができない工事車両、工事現場を見ることができ、というプラスの考え方で子どもたちに今しかできない経験ができる学校であり続けたいと思います。

「2月が28日までしかない、大変だ、じゃあ今すぐやろう！」というTVコマーシャルを見ました。そうです。ないことを憂うのではなく、今できることを今やればいいのです。今できることがありがたいことだと思うのです。令和4年度、あと1ヶ月ありますが、多くの皆様のご理解とご協力のおかげで成り立って参りました。本当にありがとうございました。これからも変化し続ける学校づくりを皆様とともに進めて参ります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。